

## 平成 22 年度「市川海岸塩浜地区護岸検討委員会」 第 1 回勉強会の開催結果概要（案）

1. 日 時 平成 22 年 9 月 8 日(金) 17 時 30 分～19 時 45 分
2. 場 所 葛南地域整備センター 大会議室
3. 参加者 27 名(委員 6 名、一般 5 名、県 3 名、関係者 7 名、事務局 6 名)
4. 座 長 遠藤茂勝委員
5. 議 題 1) 1 丁目の護岸構造について  
2) 2 丁目の護岸バリエーションについて
6. 概 要

### 1) 1 丁目の護岸構造について

- ・構造性能比較検証フロー、護岸基本断面に関して意見交換を行った。

#### [主な意見等]

- ・波向きが護岸に直角に当たるようになっているが、経験から言わせてもらくと、南西の風向きの時に波が大きくなると感じている。
- ・波返しは効果があることが分かった。ブロック形状についても今後検討願いたい。

### 2) 2 丁目のバリエーションについて

#### 2 期地区バリエーションの階段ブロックについて

- ・階段ブロックの選定について、事務局案を説明し意見交換を行った。

#### [主な意見等]

- ・急いでいる事業なので、事務局案で実施してみて、課題があれば次の公園前のバリエーションに反映すれば良い。
- ・三番瀬オリジナルとして、もう少し工夫ができないか。
- ・他の施工例を色々見て決めたらよい。茜浜の例が参考になるのではないか。
- ・いつまでに決めれば間に合うのか。

#### [事務局方針]

- ・頂いた意見を踏まえ、再検討し、次回委員会で提案したい。
- ・次回委員会で階段ブロックのタイプを決めたい。

#### 1 期地区バリエーションについて

- ・事務局案を提示し、意見交換を行った。

#### [主な意見等]

- ・砂や潮溜まりがあっても面白いのではないか。
- ・海岸保全区域は変更できないか。

事務局回答 前回の議論でも海岸保全区域は変更しないことが話されている。

- ・2 期地区前(50m 区間)のバリエーションを見てから決めたらいい。
- ・バリエーションの内容も次回の委員会で決定しなければならないのか。

事務局回答 飛ばして施工ができるため、必ずしも年度内に決めなくてはならない

ということではない。

- ・砂付け試験が好調のため、陸側に断面を切り込んで、砂をつけられないか。  
事務局回答 全体が3割勾配の中で、公園前だけを越波を許容することはできない。  
再生実現化委員会の成果を見て、砂を付ける検討をしてはどうか。

[事務局方針]

- ・頂いた意見を踏まえ、引き続き検討し、次回委員会で提案したい。